

# 安全にご利用いただくために



Thin Client US320g

2021年 4月 第一版







本製品を取り扱う前に本書をよく読み、本書は大切に保管してください。  
本製品を安全にお使いいただくために、本書の指示に従って操作してください。

本書には本製品のどこが危険か、どのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。










本書では、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

	<b>警告</b>	人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。
	<b>注意</b>	火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	注意の喚起	この記号は、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	例: 感電注意 
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	例: 分解禁止 
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	例: プラグを抜け 

(本書での表示例)

注意を促す記号	危険に対する注意の内容	危険の程度を表す用語
		
		
		

## 本書と警告ラベルで使用する記号とその内容



注意の喚起

	感電のおそれがあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。
	爆発または破裂のおそれがあることを示します。		けがするおそれがあることを示します。
	特定しない一般的な注意・警告を示します。		

行為の禁止

	本製品を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		ぬれた手で触らないでください。感電するおそれがあります。
	指定された場所以外には触らないでください。感電や火傷などの傷害のおそれがあります。		水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。
	火気に近づけないでください。発火するおそれがあります。		特定しない一般的な禁止を示します。

行為の強制

	本製品の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。
	必ず接地してください。感電や火災のおそれがあります。		

## 安全上のご注意

### 一般的な注意事項

## 警告

### 人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない

本製品は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本製品を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。

### 煙や異臭、異音が生じたまま使用しない

万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。

### 針金や金属片を差し込まない

通気孔やUSBコネクタ等のすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。

## 注意

### 日本国外で使用しない

本製品は、日本国内用として製造・販売しています。日本国外では使用できません。本製品を日本国外で使用するとう火災や感電の原因となります。

### 本製品内に水や異物を入れない

本製品内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

### 電源・電源コードに関する注意事項

### ぬれた手で電源プラグを持たない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

### アース線をガス管につながらない

アース線は絶対にガス管につながらないでください。ガス爆発の原因になります。

### 電源コードを接続したままアース線の取り付けや取り外しをしない

アース線の取り付け/取り外しは電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても電源プラグを接続したままアース線に触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。

## 注意

### 指定以外のコンセントに差し込まない

指定された電圧でアース付のコンセントをお使いください。指定以外で使うと火災や漏電の原因となります。また、延長コードが必要となるような場所には設置しないでください。本製品の電源仕様に合わせていないコードに接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。

クラス0 I のアース線付き電源コードセットを使用するときは、接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。接地接続を外すときは、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

### たご足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となるおそれがあります。

### 電源プラグを中途半端に差し込まない

電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

### 指定以外の電源コードを使わない

本製品に添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。また、電源コードの破損による感電や火災を防止するために次の注意をお守りください。

- コード部分を引っ張らない。
- 電源コードを折り曲げない。
- 電源コードをねじらない。
- 電源コードを踏まない。
- 電源コードを束ねたまま使わない。
- 電源コードをステーブラなどで固定しない。
- 電源コードをはさまない。
- 電源コードに薬品類をかけない。
- 電源コードの上にものを載せない。
- 電源コードを改造・加工・修復しない。
- 損傷した電源コードを使わない。(損傷した電源コードはすぐ同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。)

### 添付の電源コードを他の装置や用途に使用しない

添付の電源コードは本製品に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。

### ケーブル部分を持って引き抜かない

ケーブルを抜くときはコネクタ部分を持ってまっすぐに引き抜いてください。ケーブル部分を持って引っ張ったりコネクタ部分に無理な力を加えたりするとケーブル部分が破損し、火災や感電の原因となります。

### 設置・移動・保管・接続に関する注意事項

## 注意

### 指定以外の場所に設置・保管しない


本製品を次に示すような場所や本書で指定している場所以外に置かないでください。火災の原因となるおそれがあります。



- ほこりの多い場所。
- 直射日光が当たる場所。
- 給湯器のそばなど湿気の多い場所。
- 不安定な場所。

### 腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない



腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の発生する場所に設置し、使用しないでください。また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。本機内部のプリント板が腐食し、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。もしご使用の環境で上記の疑いがあるときは、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご相談ください。

運用中の注意事項



**注意**




**雷が鳴ったら触らない**  
雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また電源プラグを抜く前に、雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて本製品には触れないでください。火災や感電の原因となります。




**ペットを近づけない**  
本製品にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が本製品内部に入ると火災や感電の原因となります。



**通気開口部をふさがない**  
内部に熱がこもり、発煙、発火の原因となるおそれがあります。





**ヘッドフォンを耳に当てたまま接続しない**  
ヘッドフォンを耳に当てたままヘッドフォン端子に接続しないでください。耳を痛めるおそれがあります。また、接続前にボリュームが大きくなっていないことを確認してください。




**通気開口部に注意する**  
通気開口部とその周辺は、室温よりも高い温度となっております。長時間触れていると、低温やけどのおそれがありますので、肌の弱い方などは特にご注意ください。

無線機能使用に関する注意事項


**警告**



**埋め込み型心臓ペースメーカー装着部から30cm以上離して使用する**  
埋め込み型心臓ペースメーカーを装着されている方は、本製品を心臓ペースメーカー装着部から30cm以上離して使用してください。電波により影響を受けるおそれがあります。






**医療機関など本製品の使用を禁止した区域では本製品の電源または無線機能をOFFにする**  
医療機関などで本製品の使用を禁止した区域では、本製品の電源をOFFにするか、無線LANなどの無線機能をOFFにしてください。また、医療機関などで本製品の使用を認めた区域でも、近くで医療機器が使用されている場合には、本製品の電源をOFFにするか、無線LANなどの無線機能をOFFにしてください。医療機器に影響を与え、事故の原因になることがあります。詳しい内容については各医療機関にお問い合わせください。






**他の機器に電波障害を引き起こした場合は本製品の無線機能をOFFにする**  
本製品の無線機能を使用中に、他の機器に電波障害を引き起こした場合は、速やかに無線機能をOFFにするか、本製品の使用を中止してください。機器に影響を与え、誤動作による事故の原因になるおそれがあります。

お手入れ・取り扱いに関する注意事項




**警告**



**自分で分解・修理・改造はしない**  
絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。本製品が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。



**プラグを差し込んだまま取り扱わない**  
お手入れや装置に接続されているケーブルの取り付け/取り外しは、本製品の電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても、電源コードを接続したまま本製品内の部品に触ると感電するおそれがあります。  
また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったらままで、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。




**定期的にクリーニングする**  
電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったらままで水滴などが付くと、発熱し故障や発煙/発火の原因となります。クリーニングについてはお問い合わせの販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

ユーザースガイドについて

ユーザースガイドはWebサイトに掲載しております。  
本製品のモデル名(US320g)で以下のページから検索し、ダウンロードしてご確認ください。  
NECサポートポータル <https://www.support.nec.co.jp/>  
→サポート情報パネル[ハードウェア]-[型番・モデル名から探す]

ユーザースガイドには、本製品を安全に取り扱うための注意事項やスタートアップガイドでは記載されていないセットアップに関する詳細な説明、運用やアップグレードに関する説明が記載されています。また、「故障かな?」と思ったときのトラブル回避の手だてやサービスに関する情報も記載されています。本製品を取り扱う前にぜひお読みください。

 PDFファイルを開覧するためには、Acrobat Reader DC日本語版が必要です。  
Adobe Acrobat Reader DCはアドビ社のWebサイトから無償でダウンロードすることができます。( <https://get.adobe.com/reader/> )

製品の譲渡と廃棄について

- ストレージに保存された大切なデータについて  
OS上からは見えなくなっているストレージに記録が残っている場合があります。  
第三者へのデータ漏洩を防止するために、市販のツールや保守サービス（共に有償）を利用して、お客様の責任において消去してください。
- 第三者への譲渡について  
本製品を第三者に譲渡（または売却）するときは、本書ならびに添付の部品や説明書、ライセンス許諾書などのドキュメントもいっしょにお渡しください。譲渡や売却の際には、必ず渡してください。
- 本製品の廃棄について  
本製品の廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。  
詳しくは、各自治体へお問い合わせください。  
なお、装置添付の電源ケーブルにつきましても、他装置への転用を防ぐため、本体と一緒に廃棄してください。

航空・海上輸送について

本製品は、ボタン型のリチウム金属電池を使用しています。リチウム電池の輸送は、航空・海上輸送規制が適用されます。本製品を航空機、船舶などで輸送するときは、お買い求めの販売店または保守サービス会社へお問い合わせください。

規制について

高調波適合  
高調波電流規格 JIS C 61000-3-2適合

回線への接続について  
本製品を公衆回線や専用線に接続する場合は、本製品に直接接続せず、技術基準に適合し、認定された通信カード等の通信端末機器を介して使用してください。

海外でのご使用について  
日本国内で販売されるモデルは、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格等の適用を受けておりません。したがって、本製品を輸出した場合に当該国での輸入通関および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI - B

商標について  
本ドキュメントに記載されている会社名および製品名は、それぞれ所有者の商標または登録商標です。本ドキュメントでは、(R) とTM の表記を省略しています。

© NEC Corporation 2021  
日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

